

Lesson 3-1 時制 ①

ワークブック本体 pp.22～24

Quick Review

1. He has a brother.
2. My mother always gets up at six.
3. Time flies.
4. The moon goes [moves] around the earth.
5. They are running along the river.
6. Is it raining now?
7. My family had a cat.
8. I saw our teacher on the train this morning.
9. We went skiing every winter.
10. My father was driving his car when I called him.
11. Were you taking a bath around eight?

- 【解説】1. 現在の状態を表すには、状態動詞を現在形「～である」で用いる。主語が3人称単数で時制が現在なので動詞(V)は has となる。
2. 現在の習慣的・反復動作を表すには、動作動詞を現在形「～する」で用いる。always, often など頻度を表す副詞を伴うことが多い。3単現の-sの付け忘れに注意。
3. ことわざのように変わることのない真理を表す場合、常に現在形を用いる。fly「飛ぶ」のように〈子音字+y〉で終わる動詞に-sを付ける場合、yをiに変えて-esを付ける。
4. 科学的な事実や計算式など変わることのない事実を表す場合も、常に現在形を用いる。go「行く、動く」のように〈子音字+o〉で終わる動詞には-esを付ける。
5. 今行われている動作を表すには、動作動詞を現在進行形〈am/are/is + doing〉「(今)～している(ところだ)」で用いる。状態動詞は進行形にならない。run「走る」のように〈アクセントがある短母音+1子音字〉で終わる動詞に-ingを付けるときは子音字を重ねる。(例) cutting, beginning
6. 現在進行形の疑問文「～していますか」は、be動詞を文頭に出す。否定文「(今)～していない」は、be動詞の直後にnotを置く。主語itは天候を表す。rain「雨が降る」は二重母音なので、そのまま-ingを付ける。
7. 過去の状態を表すには、状態動詞を過去形「(過去に)～だった」で用いる。動詞の不規則変化に注意する。
8. 過去の1回きりの動作・出来事を表すには、動作動詞を過去形「(過去に)～した」で用いる。see「～が見える、目に入る」の活用は see-saw-seen。
9. 過去の習慣的・反復動作を表すには、動作動詞を過去形「(いつも)～した」で用いる。usually, every Sundayなどの頻度を表す副詞(句)を伴うことが多い。
10. 過去のある時点で行われていた動作を表すには、過去進行形〈was/were + doing〉「(その時)～していた」を用いる。drive「運転

する」のように〈子音字+e〉で終わる動詞はeをとって-ingを付ける。

11. 過去進行形の疑問文「～していましたか」は、be動詞を文頭に出す。否定文「～していなかった」はbe動詞の直後にnotを置く。(例) I **wasn't** taking a bath around eight. 「私は8時ごろ、お風呂に入っていなかった。」

Quiz

1. I have two brothers.
2. I always get up at six.
3. Time is money.
4. The earth goes [moves] around the sun.
5. A girl is walking along the river.
6. It isn't raining now.
7. My family didn't have a dog.
8. Did you see our teacher on the train this morning?
9. We went to our grandparents' house every winter.
10. My father wasn't driving his car when I called him.
11. I was taking a bath around eight.

1. 「私には弟が2人いる。」
2. 「私はいつも6時に起きる。」
3. 「時は金なり。」
4. 「地球は太陽の周りを回る。」
5. 「1人の少女が川沿いを歩いている。」
6. 「今、雨は降っていません。」
7. 「私の家族は犬を飼っていなかった。」
8. 「今朝、あなたは電車の中で先生を見かけましたか。」
9. 「毎年、冬には祖父母の家に行った。」
10. 「私が電話をかけた時、父は車を運転していなかった。」
11. 「私は8時ごろ、お風呂に入っていた。」

Exercise 1

1

1. I belong to the track and field team.
2. She usually has lunch at the cafe.
3. I learned two and three make [makes] five.
4. My mother is doing the dishes now.

- 【解説】1. 「～しています」とあるが、現在進行中の動作ではなく現在の状態を表すので、現在形を用いる。Belongなどの状態動詞は進行形にならない。
2. have「～を食べる」は動作動詞だが、現在の習慣的・反復動作を表す場合は現在形で用いる。
3. 変わることのない事実を表す場合は常に現在形を用いる。主節の動

詞が過去形(learned)であっても、時制を一致させない(make [makes])。

4. 現在進行中の動作「今～している」を表すには、現在進行形を用いる。

2

1. Tom walks [walked] his dog every day.
2. The sun is above the horizon now.
3. Yesterday I cooked dinner for my family.
4. When I was a child, I practiced swimming.
5. Light travels faster than sound.

【解説】1. 「トムは毎日、犬を散歩させる。」every day が付いた現在の習慣を表す文なので、現在形にする。3 単現の-s を忘れないこと。every day を過去のある時期の「毎日」ととれば過去形も可。「トムは毎日、犬を散歩させた。」

2. 「太陽は今、地平線の上にある。」現在の状態を表す文なので、現在形にする。be 動詞などの状態動詞は進行形にならない。
3. 「昨日、私は家族のために夕食を作った。」yesterday が付いた過去の 1 回きりの動作を表す文なので、過去形にする。
4. 「子どものころ、私は水泳の練習をしていた。」when I was a child が付いた過去の習慣を表す文なので、過去形にする。
5. 「光は音より速い。」変わることのない事実を表す文なので、現在形にする。3 単現の-s を忘れないように。travel「移動する、伝わる」。

3

1. We are discussing environmental problems now.
2. He isn't staying at the hotel now.
3. When the earthquake happened, Ken was studying at school.
4. He knew my brother very well.
5. My father read the email this morning.

【解説】1. 現在進行中の動作を表すには、現在進行形を用いる。discuss「～について議論する」は前置詞が不要。

2. stay「滞在する」は動作動詞なので、進行形にできる。現在進行形の否定文。
3. 過去のある時点で進行していた動作を表すには、過去進行形を用いる。
4. 過去の状態を表すには、状態動詞の過去形を用いる。「～していた」につられて進行形にしない。know「～を知っている」の活用は know-knew-known。
5. 過去の 1 回きりの動作を表すには、動作動詞の過去形を用いる。read「～を読む」の活用は read-read/ /-read/ /。

Exercise 2

4

1. The woman is cleaning the street.

2. The children are picking up empty cans.
3. The man is carrying a garbage bag.

【解説】1. 「女性が通りを掃除している。」現在進行形は、主語に合わせて be 動詞の形を変える。

2. 「子どもたちが空き缶を拾っている。」children は child の複数形なので be 動詞は are にする。pick up「～を拾い上げる」、empty can「空き缶」。
3. 「男性がゴミ袋を運んでいる。」carry「運ぶ」のような〈子音字+y〉で終わる動詞は、過去形の場合は y を i に変えて carried となるが、-ing 形は y を i に変えずにそのまま-ing を付ける。

5

1. (Did he join the tennis) team with his friends?
2. (What were you doing) when I called you?
3. (He always falls asleep) on the train.

【解説】1. 過去の動作を表す文なので、過去形を用いる。過去形の疑問文は Did で文を始める。join「～に入る、参加する」。

2. 過去のある時点で進行していた動作を表す文なので、過去進行形を用いる。動詞の do「～する」を現在分詞 doing に変える。
3. 現在の習慣的・反復動作を表す文なので、現在形を用いる。主語 He に合わせて 3 単現の-s を付ける。always などの頻度を表す副詞は、be 動詞・助動詞の前、一般動詞の後に置く。

6

1. She believes (that) he is honest. / She believes him honest.
2. Where did you see her?

【解説】1. 現在の状態を表す文なので、現在形を用いる。「～している」につられて進行形にしない。believe「～を信じている」は、接続詞 that を使って〈believe (that) S'+V'〉または SVOC で〈believe+O+C〉で用いられる。不定詞を使った She believes him to be honest. という文も可。

2. 過去の 1 回きりの動作を表す文なので、過去形を用いる。疑問詞 where は文頭に出し、その後に〈did+主語+動詞の原形〉を続ける。

Dialogue Writing の対話例

A: What did you do last weekend?

B: I went to a movie.

A: Did you enjoy it?

【解説】you の後の do は動詞で「～をする」の意味。返答では動詞の活用(ここでは過去形)に注意する。なお、enjoy「～を楽しむ」は他動詞なので、目的語 it(=the movie)が必要である。

Lesson 3-2 時 制②

ワークブック本体 pp.25～27

Quick Review

1. The rainy season will come soon.
2. I will go [come] home by three.
3. I am going to visit the museum this Friday.
4. Are you going to take the class?
5. It is going to snow.
6. I will finish my homework before you come.
7. Let's wait until he arrives.
8. Please call me if you have any problems.
9. The plane arrives at six o'clock in the evening.
10. My sister is having [holding, giving] a birthday party tomorrow.

- 【解説】1. 単なる未来の予測や自然の成り行きを表すには、〈will+動詞の原形〉「～だろう、～になる」を用いる。
2. 未来のことについて主語の意志を表すには、〈will+動詞の原形〉「～するつもりだ、～します」を用いる。疑問文は **will** を文頭に出し、否定文は **will not [won't]** を動詞の前に置く。
3. 意図や計画など前から予定していることを表すには、〈**be going to**+動詞の原形〉「～する予定だ」を用いる。
4. **be going to** を使った疑問文は **be** 動詞を文頭に出し、否定文は **be** 動詞の直後に **not** を置く。
5. 状況から判断した近い未来の予測を表すには、〈**be going to**+動詞の原形〉「～しそうだ」を用いる。
6. 接続詞 **when** 「…する時」、**before** 「…する前に」、**after** 「…した後」などに導かれた時を表す副詞節の中では、未来のことでも **will** を使わず、現在形を用いる。副詞節とは、文全体を修飾する **S'+V** を含むまとまり。
7. 接続詞 **until** 「…するまで」、**by the time** 「…する時まで」、**as soon as** 「…するとすぐに」なども時を表す副詞節を導き、その中では未来のことも現在形で表す。3単現の **s** を忘れないこと。
8. 接続詞 **if** 「もし…すれば」、**unless** 「もし…でなければ」に導かれた条件を表す副詞節の中では、未来のことでも **will** を使わず、現在形を用いる。
9. 現時点で確定した未来の予定を表す場合、現在形「～する」を用いる。**arrive** や **leave** など往来・発着を表す動詞がよく用いられ、日時を表す語句を伴うことが多い。**be going to** を用いた **is going to arrive** も可。
10. 準備が進行中である未来の予定を表す場合、現在進行形「～する」を用いる。**is going to have[hold, give]** も可。

Quiz

1. The rainy season will end [will finish, will be over] soon.

2. I won't [will not] go [come] home by three.
3. We are going to visit the museum this Friday.
4. Is Tom going to take the class?
5. It isn't going to snow.
6. I will finish my homework while you are [stay] here.
7. Let's wait until Emily and Lisa arrive.
8. Please call me if you need any help.
9. The plane leaves at ten o'clock in the morning. / The plane is going to leave at ten o'clock in the morning.
10. My sister is giving [making] a speech tomorrow. / My sister is going to give [make] a speech tomorrow.

1. 「梅雨の季節がまもなく終わる。」
2. 「私は3時までは家に帰りません。」
3. 「私たちは今週金曜日に、その博物館を訪れる予定だ。」
4. 「トムはその授業を受講する予定ですか。」
5. 「雪は降らなさそうだ。」
6. 「あなたがここにいる間に宿題を終えます。」
7. 「エミリーとリサが到着するまで待ちましょう。」
8. 「もし何か助けが必要ならば、電話をください。」
9. 「その飛行機は朝の10時に出発する。」
10. 「姉は明日、スピーチをする。」

Exercise 1

1

1. I will see him again before he leaves Japan.
2. If you pass the exam, I will be very proud of you.
3. Look at the black clouds. It's going to rain.
4. When I return, I will bring you some souvenirs.
5. After I buy the jeans, I will get the T-shirt.

- 【解説】1. 「彼が日本を発つ前に、もう一度彼に会うつもりだ。」SVOの文が完成しているので、接続詞が導く従属節を選ぶ。**before** は時を表す副詞節を導くので、その中では未来のことでも現在形で表されている。
2. 「あなたがその試験に合格すれば、あなたのことをとても誇りに思うでしょう。」**if** は条件を表す副詞節を導き、現在形で未来のことを表す。その結果起こり得る未来を表す文を選ぶ。
3. 「あの黒い雲を見なさい。雨が降りそうだ。」状況から判断して予測した未来を表す文を選ぶ。
4. 「私が戻る時に、あなたにお土産を持ってきます。」**when** は時を表す副詞節を導き、現在形で未来のことを表す。その時にすることを表す文を選ぶ。
5. 「そのジーンズを買った後で、そのTシャツを手に入れるつもりだ。」

after も時を表す副詞節を導き、現在形で未来のことを表す。その後ですることを表す文を選ぶ。

2

1. I'll visit the Eiffel Tower when I (go) to Paris.
2. I'll pick you up unless it (snows).
3. I don't know when she (will join) our club.
4. He (will gain) more information from the book.
5. After you (get) home, I will go out.

【解説】1. 「パリに行ったら、エッフェル塔を訪れるつもりだ。」when 「…する時」と時を表す副詞節中では、未来のことを現在形で表す。Eiffel/áífəl/。

2. 「雪が降らなければ、あなたを迎えに行きます。」unless 「もし…でなければ」と条件を表す副詞節中では、未来のことを現在形で表す。
3. 「彼女がいつ私たちのクラブに入るか知らない。」when 「いつ…か」が導く名詞節なので、未来のことは will を用いて表す。名詞節は接続詞に導かれ、文の主語や目的語・補語になる S'+V'を含むまとまり。
4. 「彼はその本からさらに多くの情報を得るだろう。」単なる未来の予測や自然の成り行きは〈will+動詞の原形〉で表す。
5. 「あなたが家に着いた後で、私は出かけます。」after 「…した後で」と時を表す副詞節中では、未来のことを現在形で表す。

3

1. I'm going to sell the camera at auction.
2. "Dinner is ready." "I'm coming."
3. Chris will make friends with Mike soon.
4. What time does this train reach Kyoto?
5. John and Sara are buying [going to buy] a house next month.
6. The last bus leaves [is going to leave] at midnight.
7. I will answer the phone instead of you.

【解説】1. 前から予定している意図・予測は〈be going to+動詞の原形〉で表す。

2. 未来の予定に向けて準備が進行中の場合、現在進行形で未来を表す。相手の視点で go と come を使い分けるので、相手に近づいて行く場合は come を用いる。
3. 単なる未来の予測や自然の成り行きは〈will+動詞の原形〉で表す。
4. 確定した未来の予定は、現在形で表す。does があるので、動詞は原形のまま。
5. 未来の予定に向けて準備が進行中の場合、現在進行形で未来を表す。なお、前から予定している意図と捉え、〈be going to+動詞の原形〉で表してもよい。
6. 確定した未来の予定は、現在形で表す。前から予定されていることと捉え、be going to を用いてもよい。
7. 主語の意志でその場で決めた未来のことは〈will+動詞の原形〉で表す。

Exercise 2

4

1. I am going to study in the library on May 10.
2. The exams are going to begin [start] on May 12 and end [finish] on May 15.
3. I am going to go to a [the] concert on May 18.

【解説】1. 「5月10日に図書館で勉強する予定だ。」前からの予定は〈be going to+動詞の原形〉で表す。in the library 「図書館で」。特定される場所には the を付ける。

2. 「試験は5月12日に始まり、5月15日に終わる予定だ。」end 「終わる」。日本語では「○日から始まる」だが、英語では〈on+日付〉を用いる。
3. 「5月18日にコンサートに行く予定だ。」

5

1. Do you (know if she will come) to the festival?
2. (Are you going to start) the project in July?

【解説】1. if 「…かどうか」が導く名詞節なので、未来のことは will を用いて表す。if 「もし…すれば」が導く副詞節と混同しないこと。また、if の後は S'+V' の語順にするよう気をつける。

2. 前からの予定は〈be going to+動詞の原形〉で表すが、疑問文なので be 動詞を文頭に置く。

6

1. They're arriving [going to arrive] on Sunday afternoon.
2. If it is sunny [fine] tomorrow, we'll go out.
3. Let's go back to the hotel before it gets dark.

【解説】1. 未来の予定に向けて準備が進行中の場合、現在進行形で未来を表す。なお、前から予定している意図と捉え、〈be going to+動詞の原形〉で表してもよい。on Sunday afternoon 「日曜の午後に」。曜日や日付のほか、ある特定の決まった日時を表す場合にも on を用いる。

2. if 「もし…すれば」と条件を表す副詞節中では、未来のことは現在形で表す。天候を表す it を主語に置き、形容詞 sunny/fine 「晴れた」を be 動詞と共に用いる。
3. before 「…する前に」と時を表す副詞節中では、未来のことは現在形で表す。明暗を表す it を主語に、動詞 get 「～になる」と形容詞 dark 「暗い」で SVC の文を作る。

Dialogue Writing の対話例

A: What **are** you **going to do** tonight?

B: I'm **going to exercise**.

A: That sounds good.

【解説】未来の予定を尋ねる表現。特に予定がなくても、I'm going to relax at home. 「家でゆっくりします。」などと答えたい。